

ぱんだ・こあらだより



1月号

3歳児

ねらい

- ◎戸外で体を動かすことを楽しむ。
- ◎正月の伝承遊びや行事を保育者や友達と一緒に楽しむ。
- ◎冬の身支度や身の回りのことを自分でしようとする。

内容

- 体を動かすと温かくなることを知る。
- 保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。
(ねことねずみ、鬼ごっこ、だるまさんがころんだ など)
- 保育者や友達と一緒に、こま回しやかるた取りをやってみようとする。
- 興味を持って鬼のお面の製作をし、節分の由来を知る。
- 冬の生活の仕方を知り、自分でしようとする。(手洗い、咳エチケットなど)
- 気温や体感で衣服の調節の必要があることを教えてもらったり、自分で気づいて着替えようとしたりする。
- 楽しんで手遊びや体操をする。
(鬼のパンツ・豆まき など)



遊んだ後や食事の前は
手洗いや消毒をしよう！

《自分でシャツ入れられるかな?》

園では、子どもが自分でシャツをズボンに入れるように取り組んでいます。最初は保育者が手を添えて一緒に行っていましたが、くり返し取り組む事で徐々に自分でシャツを入れるようになってきました。「先生後ろも出来とる?」「自分で出来たよ!」と自分で出来るようになってきた事を嬉しそうに見せてくれます。ご家庭でも取り組んでいただき、出来るようになった嬉しい気持ちをお子さんと共感してもらえると良いですね。



《自分だけの楽器、作ってみたよ》

園外保育でつけた自然物を使って、楽器遊びをしました。音楽に合わせて鳴らす事を楽しんだり、可愛く飾り付けをしたりする子ども達。入れる自然物の大きさや数によって音が違い、自分だけの特別な楽器ができあがりました。



《ハサミの使い方》

ハサミの正しい使い方について話をしました。危険な持ち方や渡し方を見せると「危ない!」「目に入ったら見えなくなるよ」と言い、安全な使い方について意識する子ども達の姿が見られました。保育者が手を添えたり見守ったりしながら一回切りをすると、少し緊張しながらも自分で切れた事に嬉しそうなお表情を見せる子が多くいました。園や家庭で、たくさん経験させてあげたいですね。

《お願い》

- ・体調を崩しやすい季節になりました。園ではシャツの入れ方の他、鼻のかみ方、傘の閉じ方など自分の事は自分でできるよう取り組んでいます。ぜひご家庭でも一緒に取り組んでみてくださいね。
- ・ハサミを使った遊びは、指先の機能の向上や豊かな想像力を養います。安全面には十分気を付けながら、ご家庭でも親子で一緒に遊んでたくさん経験ができると良いですね。